

トヨタジュニアゴルフワールドカップ、日本は悪天候の中、大健闘!!!

開催国の日本の女子チームは記録更新を続け、男子チームも2位以下との差を広げる!!!



木曜日に第3ラウンドが始まったトヨタジュニアゴルフワールドカップは、雨に見舞われた。

大会は、米国の大学ゴルフに似た形式で行われ、男子は各チームが毎日、4人のうちベストスコアの3人を採用する。女子の部では、各チームが3人のうちベストスコアの2人を採用する。

日本の女子チームが大会記録を塗り替え続け、54ホールの記録を樹立した。加えて、男子も本領を発揮し、前日のリードをさらに広げ、団体戦のトロフィーを独占できる位置につけた。

荒木 優奈が6アンダーの66で個人の部で首位に立ち、日本の女子チームは3日目に10アンダーの134をマーク。今週、日本はすべてのラウンドで8アンダー以下のチームスコアを記録している。

3日目に他のチームが6アンダーを上回ることができなかつたため、日本は過去4回開催されたトヨタジュニアゴルフワールドカップで3回目となる女子タイトルを目指し、アメリカに7打差をつけ明日の最終日に臨む。

「アメリカも（水曜日の 131 のように）良いスコアを出す可能性があるので、日本を追い抜く可能性はまだある。」と荒木は、アメリカを警戒した。荒木は今週 2 度目の 66 をマークし、個人成績でも 3 打のリードを広げている。

アメリカ（409）と韓国（412）も 54 ホールのこれまでのスコア記録を更新したが、両者とも開催国を追い越すには苦しい戦いが予想される。3 日目にボギーなしの 68 でアメリカチームのトップに立ったアンナ・デービスは、「非常に大変な位置ではあるが、私たちは優勝ができると考えているし、ゴルフは、何が起こるか分からない。ただ、バーディーを取ることに集中すること。」と最終日に自分たちがやらなければならないことを淡々と述べていた。

一方、男子では、佐藤 快斗が 4 アンダーの 67、本 大志が 68 をマークし、日本は、前年覇者のカナダに 6 打差をつけた。日本は通算 24 アンダーの 615 で 3 ラウンドを終え、カナダ（621）が 2015 年大会以来となる男子の優勝から開催国を守る現実的なチャンスを持つ唯一のチームとなった。

2 位のカナダは、明日に向けて、綿密に作戦を練っている様子が伺えた。というのも「私たちが優勝するのに、59 は必要ない。」とカナダのジェフ・マクドナルド監督が選手たちに明日の逆転優勝に向けて作戦を話しているのが耳に入ったからである。

対する首位の日本チームの佐藤は、「誰が 2 位になったかなんて誰も覚えていない。周りのスコアを気にせず、自分のプレーに集中し、バーディーを取ること。」と、男子個人タイトル争いでも首位に立つ佐藤は、最終日に向けて自分がなすべきことと、優勝へのこだわりと重要性を冷静に語った。

ほぼ快晴の暖かいコンディションが 2 日間続いたが、夜になって寒冷前線が中京ゴルフ倶楽部に接近。コースでは、選手たちがハーフターンを始める頃まで雨が降り続いた。そして、第 3 ラウンドは、梅雨の中でのゴルフに慣れている日本チームにとって、この状況は有利に働いたようだ。

「正直言って、今日は、雨が降りづいていたので、飛距離、グリーン上と、何から何まで全く違うゲームだった。私は、雨のゴルフに慣れていなくて、コースコンディションの変化に対応できなかった。」と、74 で女子個人首位の座を明け渡したカリフォルニア出身のジャス

ミン・クーは悔しそうに自身のプレーを振り返った。

「日本の選手たちは毎年、この時期に梅雨でのゴルフを経験しているので、有利だ。この天候に慣れていることは、間違いなく助けになったと思う。」と荒木は、日本チームが、日本特有の天候を経験している事が、首位を独走する要因になっていると分析した。

69 をマークしたカナダのアレックス・チャンは、「このコンディションを受け入れるしかなかった。簡単にあきらめることもできるけど、ひたすらプレーに集中するしかない。」と悪天候の中でも、決してあきらめないことの重要性を語っていた。

また、全米女子アマ優勝者の馬場 咲希（日本）と、2022 年のオーガスタ・ナショナル女子アマで優勝したデービスという 2 人のビッグネームが、初めて同じ組になった日でもあった。両者とも 68 の好スコアをマークした。

「以前、他の大会で彼女を見たことがあった。」と馬場は言い、「とても嬉しかったし、アンナがどんな人なのかを見るのが楽しみだった。」とアンナとプレーしたことに興奮していた。

一方、アンナは、木曜日の 1 番ティーングエリアに到着して彼女を見るまで、馬場と同じ組であることに気づかなかったようだ。

「私は自分のティータイムを記録しているのだけだけど、他の誰と回るかまでは、あまり注意深くチェックしない。でも、彼女と一緒にプレーしたいと思っていた。初めて彼女と回った印象は、彼女のゴルフは、とても安定しているし、調子が良い。」

今回で 29 回目を迎えるトヨタ・ジュニア・ゴルフ・ワールドカップは、6 大陸にまたがる地域予選にエントリーした 70 のナショナルチームから始まったプロセスの最終目的地である。

男子は 12 チーム、女子は 8 チームが優勝を争った。

トヨタジュニアゴルフワールドカップ Supported by Japan Airlines に関する詳細は、WJGTC.org に記載。

全スコア：golfstat.com

写真：adobe.ly/43SXFf2